7月5日出と6日(印)に小牧市制70周年記念事業として、将棋のタイトル戦である伊藤園お~いお茶杯第66期王位戦の七番勝負第一局こまき対局が市内の合掌レストラン大藏で行われました。



本特集では、藤井聡太王位に永瀬拓矢九段が挑んだ熱戦の模様はもちろん、 対局を盛り上げたこまき勝負おやつコンテストに大盤解説会、史跡小牧山 訪問の様子など、まち全体で盛り上がった王位戦の舞台裏をお届けします。

玉丛 信長も見た景色に想いを馳せる。 ・挑戦者が小牧山訪問、

要衝として重要だったの 位は、「濃尾平野が一望で り、小牧山の景色によく になるようにしたい」と、 かなと理解できた。熱戦 きる素晴らしい景色で、 山城から濃尾平野の雄大 馴染んでいました。小牧 史的な背景に触れました。 の地で、両棋士はその歴 天下人・織田信長が築い る小牧山を訪れました。 な景色を一望した藤井王 る二人の姿は、風情があ 九段が市のシンボルであ まき対局の開催に先立ち、 王位戦七番勝負第一局こ た城としても知られるこ 滕井聡太王位と永瀬拓矢 日傘を差して散策され 市制70周年を記念した



撮影 では、

こちらから小 牧山訪問の様 子を視聴でき

この地の持つ戦略的意味



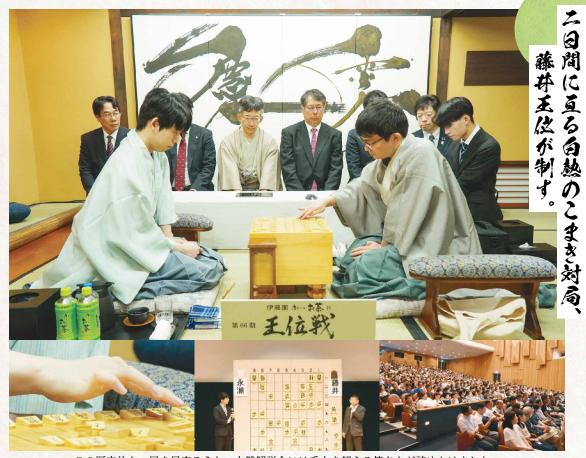
ません。 両棋士の心に影響を与え 問がその後の激闘に臨む めた様子でした。この訪 対局への闘志を静かに高 めたであろう景色の中で、 れました。 たことは言うまでもあり 天下を夢見た信長も眺

ろの一つである石垣の前 取ったようでした。 将棋と戦の共通点を感じ て頑張りたい」と述べ、 と将棋は近いところがあ 合いに想いを馳せてい した。永瀬九段もまた、「戦 また、小牧山の見どこ 学んだことを活かし (表紙写真) が行 両棋士による記念

前夜祭でプレゼント交換

前夜祭では、藤井王位と永瀬九段によるトーク -のほか、6月29日に開催された「小牧陣中将 棋大会」で入賞した子ども達が登壇し、藤井王位と 永瀬九段から大きな置き駒が手渡されました。 て、子ども達からは両棋士へ花束の贈呈がありまし た。また、市長から"しのおかの桃"が渡されました。





この歴史的な一局を見守ろうと、大盤解説会には千人を超える皆さんが詰めかけました。



棋士を支えたこまき勝負おやつ。盤上を彩る至福の時、

中に藤井王位が③⑤⑧を、永瀬九段が①⑥⑧を召し上がりました。こまき勝負おやつコンテストで最終候補に残った8品の中から、2日間の対局